MMQ

300498

□要

□明

MMQ□胞株は、7315aラット下垂体腫瘍由来のクローン性プロラクチン分泌 □胞株である。この□胞株は排他的にプロラクチンを分泌し、機能的ドーパミン受容体、特に D2サブタイプを発現している。ドーパミンは、様々な実験で示されているように、 □胞内のサイクリックAMP（cAMP）レベルとカルシウム取り込みを減少させることにより、プロラクチン（PRL）放出を阻害する。この阻害はハロペリドールや百日咳毒素によって逆転することから、ドーパミンの作用における GTP結合タンパク質の役割が確認された。MMQ□胞はソマトスタチン（SRIF）と血管作動性腸管ポリペプチド（VIP）にも反応するが、TRH、アンジオテンシンII、ニューロテンシンには反応しない。
MMQ□胞は急速に増殖し、最適条件下では24時間以内に倍加する。ラットに移植すると、 MMQ□胞は腫瘍を形成し、ACTHのような他のホルモンを変化させることなく血清プロラクチン濃度を上昇させる。この □胞株は、プロラクチン調節、特にドーパミンとそのプロラクチン分泌抑制機構との関連を研究するための重要なモデルである。

ティッシュ	脳
病気	ラット下垂体腫瘍

用途

3D□胞培養

分類

生物	ネズミ
セックス	未指定
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	球状□胞

核型

6%の倍数性を持つラットの超2倍体核型 - 49-52 - 高レベルの自然切断。

識別子

引用

MMQ (Cytion カタログ番号 300498)

NCBI 納税者番号	10116
セロサウルス	CVCL_2117

発現と感受性

発現している受容体

ドーパミン

ウイルス

SMRV

製品

プロラクチン

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に7.5%のウマ血清、2.5%の熱不活性化FBSを加える。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の □胞密度は5×10⁵□胞/mlとし、最適な増殖のため□胞濃度を3×10⁵～1×10⁶□胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	2 × 10⁵ □胞/ml

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	5日

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB